

<p>マクロ経済 産業動向</p>	<p>(1) 【1日 Daily Star 紙】 Google は、バングラデシュにおけるインターネット利用者数は4,000万人であり、その内35%が毎日利用していると述べた。一方、バングラデシュ政府は、2017年9月時点のインターネット利用者数を7,920万人としており、Googleの発表は、この数値と大きく乖離している。Google側は、この数値は「Youtube、Play Store 及び Gmail の利用状況から割り出したものだ」と述べた。</p> <p>(2) 【4日 Daily Star 紙】 2017年11月の海外送金受取額は、前年同期比27.64%増の12.1億ドルに達した。銀行関係者は、昨今の通貨安(タカ安)が海外送金受取額を引き上げているとの見方を示した。実際、10月2日に1ドル=80.8タカだった為替レートは、11月30日には82.3タカに達した。これに伴い、海外送金受取額も前月(10月)より4.47%ほど伸びた。</p> <p>(3) 【15日 Daily Star 紙】 国連は「World Economic Situation and Prospects 2018」を発表し、この中で、バングラデシュの2018年の経済成長率は7.1%に達するとの見通しを明らかにした。同報告書は「バングラデシュは大規模インフラプロジェクト及び電力セクターにおける革新的な取り組みにより、急速な成長を維持する」と述べた。</p> <p>(4) 【15日 Daily Star 紙】 じゃがいもの価格下落により、農家や冷蔵倉庫運営業者は損害を被っている他、消費者はそのような低価格の恩恵は及んでいない。冷蔵倉庫の出荷時における卸売価格は1kg当たり2.5タカだが、これがダッカにおける小売価格では1kg当たり15~20タカに跳ね上がっている。このことは小売価格の約85%は仲買人が取っていることを意味している。</p> <p>(5) 【15日 Daily Star 紙】 今年度当初4か月間(2017年7月~10月)の経常収支は33.1億ドルの赤字となり、前年同期間における4,400万タカより赤字幅が拡大した。これは旺盛な輸入が続く一方、引き続き輸出が伸び悩んでいることが要因。実際、同期間に輸入は28.7%伸びたのに対し、輸出の伸びは僅か7.63%だった。</p> <p>(6) 【19日 Daily Star 紙】 インターネットの国際回線(international internet bandwidth)への接続量は、2017年9月時点で1秒当たり456ギガバイトに達し、前年同期比73.3%増加した。業界関係者は「人々の生活スタイルは進化しており、最近では娯楽や教育などにインターネットが活用されている」と述べた。</p>
-----------------------	--

	<p>(7) 【21日 Daily Star 紙】 過去7か月間でインターネット利用者数は1,000万人ほど増加し、2017年11月時点では8,020万に達した。この内、7,470万人は携帯電話からの接続である他、534万人はブロードバンドから、更に8.8万人はWimaxからの接続だった。業界関係者は「この増加傾向は今後も続く」との見方を示した。</p> <p>(8) 【28日 Daily Star 紙】 2017年のセメント業界は、タカ安に伴う原材料の高騰、市場での競争激化に伴い、巨大インフラ・プロジェクトにおける需要増にもかかわらず、苦境にあえいだ。セメント価格は1kg当たり385タカと前年よりも15タカ減少している一方、原材料は海外から輸入している為、通貨安でコスト増となっている。</p> <p>(9) 【28日 Financial Express 紙】 Standard Chartered 銀行は、今年度(2017/18年度)の経済成長率は6.9%で、昨年度の7.28%より下振れるとの予想を明らかにした。Standard Chartered 銀行は、昨年洪水の影響が今年度後半まで残る他、来年予定されている総選挙も経済に悪影響を与える可能性を指摘。</p>
<p>財政 税制</p>	<p>(1) 【10日 Daily Star 紙】 今年度当初4か月間(2017年7月～10月)の個人向け国債の販売額は、前年同期比8.49%増の1,731億タカに達した。これは、個人向け国債の利回りは11.04%～11.76%で、市中銀行における貯蓄金利(およそ7%)より高いことが要因。業界関係者は「このような個人向け国債の販売増加は、今後も当面は続く」との見通しを示した。</p>
<p>金融・物価・ 為替</p>	<p>(1) 【1日 Daily Star 紙】 2017年10月の民間セクター向け融資残高の伸び率は18.63%を記録し、前月の17.8%から続伸した。この背景につき民間銀行関係者は、食料や工作機械などの堅調な輸入や政府のインフラプロジェクトにおける資金需要を挙げた。</p> <p>(2) 【4日 Daily Star 紙】 バングラデシュにある57の銀行の内、9銀行は最低資本金を満たしておらず、資本不足に陥っていることが明らかになった。中央銀行の統計データでは、2017年9月は9銀行合計の資本不足額は1,770億タカに達し、2017年6月の500億タカより拡大した格好。更に、資本不足のリストに国営銀行が名を連ねるのはいつものことだが、今回は初めて民間銀行(Farmers Bank)の名前が入った。</p> <p>(3) 【8日 Daily Star 紙】 「Bank's Farm Loan Expansion of Smallholder Farmers」と題されたラウンドテーブル会議が開催され、この中で、Bank AsiaがUSAID、</p>

	<p>Ahsania Mission 及び Care Bangladesh と実施している、農民にデビットカードを配布するプロジェクトが紹介された。このプロジェクトでは、3,100 人の農民にデビットカードを配布し、その半数以上が融資を借りている由。</p> <p>(4) 【28日 Daily Star 紙】 産業向け融資における債務不履行が、前年より 30.31%増加している。2017 年 9 月時点における債務不履行額は 3,127 億タカとなり、前年同時期の 2,399 億タカより増加した。業界関係者は「中央銀行が 50 億タカ以上の大型融資向けに導入した返済スケジュールの再検討スキームを、幾つかの財閥が悪用している」と指摘した。</p> <p>(5) 【29日 Daily Star 紙】 先月 (11 月) でさえ、銀行の預金金利は 5%を下回っており、前年同時期の 6%よりも低い。更に、この預金金利は、物価上昇率よりも低い水準となっている。業界関係者は「この結果、銀行の預貸率は高くなっている」と述べた。</p> <p>(6) 【31日 Daily Star 紙】 2017 年 11 月の民間セクター向け融資残高は、前年同月比 19.06%増を記録。これは 2012 年 3 月以来の高い水準。この背景につき業界関係者は「多くの銀行は利益を確保する為に民間セクター向け融資に前向きである」と述べた。</p>
投資	<p>(1) 【19日 Daily Star 紙】 銀行の貸出金利が一桁台まで下落したことを背景に、不動産業者は 2018 年も不動産市場は拡大を続けると想定される。2017 年には、政治的安定および他産業における投資機会の欠如から、不動産市場は 5～7%ほど増加し、2015 年や 2016 年より旺盛な成長を見せた。実際、Gulshan や Baridhara 地区では、1 フィート当たり 200～500 タカほど不動産価格が上昇している。</p>
貿易	<p>(1) 【8日 Daily Star 紙】 2017 年 11 月の輸出額は、前年同月比 6.22%増の 30.6 億ドルに達した。9 月の輸出額は 20.3 億ドル、10 月は 28.4 億ドルであったことから、輸出額の増加に勢いがついてきた格好。また今年度当初 5 か月間 (2017 年 7 月～11 月) の輸出総額も、前年同期比 6.86%増の 145.6 億ドルに達した。</p> <p>(2) 【11日 Daily Star 紙】 今年当初 10 か月間 (2017 年 1 月～10 月) におけるアメリカ向け縫製品の輸出総額は、中国やインド、ベトナム等の競合品との競争により、前年同期比 4.22%減の 45.4 億ドルに留まった。アメリカは縫製品の最大輸出国であるが、アメリカにおける縫製品市場では中国、ベトナム、インド、パキスタン及びメキシコに次いでバングラデシュのシェア</p>

	<p>アは第6位となっている。</p> <p>(3) 【17日 Daily Star 紙】 今年当初9か月間(2017年1月～9月)に輸入されたノートパソコンの台数は40.1万台に上り、前年同期比60%の伸びを見せた。この内HP社の割合は36%を占めた他、Dell社は26%、Lenovo社は17%を占めた。尚、デスクトップ型パソコンの輸入量は、前年同期並みの8万台に留まった。</p>
雇用問題 海外出稼ぎ 社会保障	<p>(1) 【13日 Financial Express 紙】 今年の年初から12月12日までの新規海外出稼ぎ労働者数は95万人を超え、今年の新規渡航者数は100万人を超える見込み。現在、バングラデシュ人海外出稼ぎ労働者は165か国に派遣されているが、最も多いのはサウジアラビアで50万人以上が派遣されている。これにオマーン(83,016人)、カタール(77,145人)が続く。</p>
社会	<p>(1) 【1日～4日 Daily Star 紙】 11月30日から12月2日の日程で、ローマ法王がバングラデシュを訪問。首都ダッカで記者団に対し、隣国ミャンマー西部のイスラム系少数民族ロヒンギャがバングラデシュに大量脱出している問題で「決定的な対策が必要だ」と国際社会の支援を訴えた。</p> <p>(2) 【15日 Daily Star 紙】 国境なき医師団は、2017年8月25日から9月24日までの1か月間に、およそ6,700名(この内730名は5歳以下の子供)のロヒンギャが殺害されたとする調査結果を明らかにした。これは、ロヒンギャ難民にインタビューをして調べたものであり、国境なき医師団は「これは最も保守的に見た時の数字だ」と強調した。</p>

(了)